

## 新設 一般選抜（英語 Speaking Test 利用型）のご紹介

英語圏の大学への海外留学を必修にして  
真に使える英語力の育成を目指す  
国際英語学科が  
私立大学では全国で初めて\*  
一般選抜で英語のスピーキングテスト BCT-S を実施します

\*国公立大学を含めると東京外国語大学に続いて実施

### BCT-S とは

- ✓ イギリスの公的機関ブリティッシュカウンシルと東京外国語大学が協働して日本の大学入試用に開発したテストです
- ✓ 2019 年から東京外国語大学の一般入試で実施しています
- ✓ テスト時間は約12分、コンピュータを使って英語のコミュニケーション力を世界基準で測定します

### この試験を特にお勧めしたい5つのタイプの受験生

<タイプ1> 大学入学後に英語圏への留学を希望している受験生

- ◇ BCT-S の受験対策をすることが将来の海外留学にもつながります

<タイプ2> 英語でのコミュニケーションが得意な受験生

- ◇ 英語 Speaking Test 利用型では BCT-S の得点配分が全体の40%です

<タイプ3> 一般選抜で英語の比重が高い大学を目指す受験生

- ◇ 英語 Speaking Test 利用型は、大学入学共通テストの「英語」（リーディング・リスニング）を合わせて、英語が全体の70%の得点配分となる英語重点型の一般選抜です

<タイプ4> 日本の高校で英語のコミュニケーション力を高めてきた受験生

- ◇ BCT-S は日本の高校で身につけた英語のスピーキング力をきちんと測ります

<タイプ5> 一般選抜で英語外部検定試験も利用したい受験生

- ◇ 英語 Speaking Test 利用型は出願条件として英検 2 級以上を目安としてください



なお、入試当日は文部科学省の指導に基づいて新型コロナウイルスへの感染予防対策を実施します（詳細は後日発表）